

I. 実習目的

1. 組織の機能を知り多組織・多職種との連携とチームケアの実際を学び看護の役割を理解する。
2. チームの中で複数の対象者・家族の看護を実践する。
3. 自己の看護観と今後の課題を明確にする。

II. 実習目標

1. 複数の患者に対するケアマネジメントを理解し、責任をもって看護を行うことの必要性を理解する。
 - 1) 複数の患者を受け持ち、患者情報を収集し、患者に必要な看護を計画立案し、担当看護師と調整する。
 - 2) 複数の受け持ち患者に対して看護実践の優先順位を立てる。
 - 3) 病棟の看護計画を基に、自分のタイムスケジュールを立てる。
 - 4) 看護実践の前に、看護計画の内容、タイムスケジュール、看護実践の優先順位について、リーダー看護師に報告・連絡・相談をする。
 - 5) メンバーシップに基づいて受持ち患者の看護を実践する。
 - 6) 看護の実践中や実践後に患者状態や看護の実践結果、評価をリーダー看護師に報告する。
2. 看護チームの役割と機能を理解する。
 - 1) メンバー看護師、リーダー看護師、看護師長の役割と機能を知る。
 - 2) 看護が継続して24時間提供されていることを理解する。
 - 3) 患者のケアが多職種と協働で行われていることを理解する。
 - 4) チーム医療における看護職の役割を理解する。
3. 病院組織、看護部組織の概要を知る。
 - 1) 病院組織の概要と理念を理解する。
 - 2) 看護部組織の概要と目標による管理について理解する。
 - 3) 看護部の教育理念にあった看護師育成のための仕組みについて知る。
4. 看護に際してのヒューマンエラー防止の必要性を理解する。
 - 1) 起こしやすいヒューマンエラーを理解し行動する。
してはならないこと（誤人、誤薬等）
しなければならないこと（転倒転落防止、褥瘡防止、院内感染防止）
 - 2) ヒューマンエラーを起こしやすい状況について理解し行動する。
 - 3) ヒューマンエラーを防止するための具体的な方法について理解し行動する。
 - 4) ヒューマンエラーを起こした場合の対処方法を知る。
 - 5) 医療事故防止のための組織的な取り組みやシステムを知る。
5. 専門職として、看護倫理に基づいた行動をする。
 - 1) 患者の価値観を考慮し患者を尊重した言葉かけや対応をする。
 - 2) 患者のプライバシーに配慮する。
 - 3) 看護ケアの必要性について、患者が理解できる言葉で説明する。
 - 4) 患者の看護に責任をもち、報告・連絡・相談をする。
 - 5) 自分のできることでできないことを判断し行動する。

Ⅲ. 実習期間

2020年6月29日(月)～7月10日(金)

Ⅳ. 実習施設

福岡徳洲会病院 7階南病棟、8階南病棟

Ⅴ. 実習時間

実習時間：9時00分～16時

Ⅵ. 実習方法

1. 初日看護統合実習のオリエンテーションを受ける。施設・病棟の概要、受持予定の患者の概況（疾患、治療、看護等）について、事前学習を十分行ってから臨地実習に臨む。
2. 実習1週目はシャドーウィングを行い、メンバー看護師、リーダー看護師の役割を学ぶ。組織の機能と多組織・多職種との連携、チームケアと看護の役割について様式9に沿ってまとめ、中間カンファレンスまでに提出する。
3. 実習1週目に、受持ち患者を決定し、可能であれば同意書をとる。同意書を得た後は、受け持ち看護師とともに一部援助を行う。
4. 実習2週目に情報収集（検査・治療内容や指示等含む）を行い、アセスメントし看護計画を立案する。受持ち（プライマリ）看護師の立案した看護計画と照合し、修正を行う。看護計画に基づいて翌日のタイムスケジュールの作成、優先順位の確認、ケアに必要な物品の確認を行う。
5. 看護師指導の下、複数患者に対するケアマネジメントと医療事故予防のための実践を具体的に学ぶ。
6. 看護師長から病棟管理について説明を受ける（病棟概要、看護体制、看護方式、病棟でのリスクマネジメント、退院支援、目標による管理、スタッフ育成）。可能であれば、看護師長のシャドーウィングを行う。
7. 看護師長より、病院組織と看護管理について学ぶ（病院の理念、看護部理念、目標による管理、人材育成、医療事故防止・感染管理・褥瘡管理・退院支援のための組織的な取り組みやチーム医療）。
8. 病棟でのチームカンファレンスや回診に参加する。
9. デイリーカンファレンスは、臨地指導者・教員を交えて毎日30分行い翌日の実習につなげる。最終カンファレンスは最終日に臨地指導者・教員を交えて40～50分行う。
10. 最終カンファレンスでは、2週間の学びと今後の課題について発表する。前日までに必要部数を確認した上、印刷し当日朝配布する。
11. 最後の2日間の学内日は、グループワークと発表会を行い学びの共有を行う。

Ⅶ. 実習展開

実習日	場所	午前	午後	内容
1 6/29 (月)	学内	統合実習オリエンテーション 各病棟オリエンテーション	実習病棟の入院患者の特徴(疾患名や検査・治療当)を学習する。	・統合実習オリエンテーション ・各病棟オリエンテーション ・受持つ予定の患者の事前学習(病態、検査・治療、看護のポイント)
2 6/30 (火)	臨地	病棟オリエンテーション メンバー看護師シャドーウィング/ リーダー看護師シャドーウィング(2名)		・病棟オリエンテーション(看護体制・方式、特徴、病棟の構造、物品の位置、感染管理) ・2名1組でメンバーもしくはリーダー看護師のシャドーウィングを行う。 ・受け持ち可能な患者がいる場合は、同意を得る。
3 7/1 (水)	臨地	看護管理観察実習 ※受け持ち決定、情報収集		・看護管理者実習は、看護師長役割(病棟での看護サービス管理、感染管理、褥瘡管理、退院支援、スタッフ育成、目標管理等)について師長に同行し看護管理の実際を学ぶ。 ・受け持ち可能な患者がいる場合は、同意を得て、情報収集する。
4 7/2 (木)	臨地	メンバー看護師シャドーウィング/ リーダー看護師シャドーウィング (午前2名、午後1名) 受け持ち決定、情報収集 中間カンファレンス		・2名1組でメンバー看護師もしくはリーダー看護師のシャドーウィングを行う。 ・受け持ち可能な患者がいる場合は、同意を得る。 ・中間カンファレンスを行う
5 7/3 (金)	学内	・受け持ち患者の看護過程の展開 ・受け持ち患者に必要な看護技術の演習		・受持ち患者看護計画立案、受持ち(プライマリ)看護師の計画と照合、翌日の行動計画とタイムスケジュール作成、優先順位確認、ケアに必要な物品の確認を行う。
6 7/6 (月)	臨地	メンバー実習		・受持ち患者のケアを指導者とともに行う。 ・当日の担当看護師の指導を受ける。
7 7/7 (火)	臨地	メンバー実習		・受持ち患者のケアを指導者とともに行う。 ・当日の担当看護師の指導を受ける。
8 7/8 (水)	臨地	メンバー実習 最終カンファレンス		・受持ち患者のケアを指導者とともに行う。 ・当日の担当看護師の指導を受ける。 ・臨地実習の最終カンファレンスは学生主体で実施 ・最終カンファレンス(40～50分間) ・カンファレンス資料は、参加者人数分を印刷
9 7/9 (木)	学内	課題について話し合う。 全体発表の準備		・実習評価をグループで行い、体験を通して学びを共有する。発表準備を行う。
1 0 7/10 (金)	学内	全体発表	まとめ 記録提出	・グループごとに発表を行い、学びを共有する。 ・実習記録作成/自己評価/記録整理 ・7/10(金)12:00迄に担当教員へ実習記録を提出

Ⅷ. 評価方法

評価表(様式6)に基づき実施する。

1. 出席：臨地4日以上出席により評価の対象となる。
2. 配点：実習目標の実践内容および態度90%、発表10%。
3. 記録：臨地実習における毎日の実習記録
(その日の実習目標に沿った実施および分析)、発表報告書。

IX. 提出記録用紙（以下の順に綴じる）

1. 看護統合実習評価 (様式8)
2. 課題レポート (様式9)
3. 行動目標・行動計画 (様式1)
4. タイムスケジュール (様式2)
5. 受持ち患者基礎情報 (様式3)
6. 疾患の病態生理・看護 (様式4)
7. 関連図 (様式5)
8. 看護過程 (様式6)
9. フリーシート (様式7)
10. 全体発表資料(フォーマットなし)

X. 参考資料

- ・タイムスケジュール記入例（資料1）

XI. 事前学習

下記内容について、実習初日までに学習を深めること。

1)7南病棟、8南病棟ともに必要な内容

- 統合実習要項・目標を読み、わからない用語を明確にする。
- 看護管理の視点もふまえた実習病院の概要(沿革・理念・組織など)
- リーダー実習に必要な学習
- 壮年期の身体的・精神的・社会的特徴
- 老年期の身体的・精神的・社会的特徴
- 廃用症候群のリハビリテーション
- 手術を受ける患者の看護(術前～術後の管理、麻酔、合併症の看護)
- 以下の疾患を合併していることが多い
高血圧、糖尿病、認知症、緑内障、高脂血症

2)7階南病棟

(1)泌尿器科

- 腎・泌尿器の構造と機能
- 受け持つ可能性のある主要な疾患
(尿道狭窄症、急性腎盂腎炎、尿路感染症、水腎症、腎不全、膀胱癌、尿管結石、前立腺炎、膀胱タンポナーデ症状)
- 受け持つ可能性のある疾患の検査・治療・看護

(2)形成外科・形成外科

- 顔、四肢の腱・神経・血管・筋膜・骨・関節の構造と機能:どのような動きや働きをしているのか理解する。
- 顔、四肢の腱・神経・血管・筋膜・骨・関節の損傷による挫傷、断裂、皮下血種、骨折が起こった場合の検査・治療・処置・看護
例:(VAC療法、骨切り、四肢切断、鼻骨整復、骨接合術、人工骨置換術、デブリードマン、ブラッキー・ドレッシング、デグロビン・グ損傷、皮膚潰瘍治療薬(軟膏・ガーゼ・スプレー) ROM訓練、自動・他動運動、シーネの種類とシーネ固定疼痛管理(内服薬以外にもIVPCA、PDCAも含めて)

3)8階南病棟

- 大腿骨頸部骨折、大腿骨転子部骨折、変形性膝関節症の病態生理、治療、看護
- 壮年期・老年期の生理的变化、身体社会的変化
- 認知症患者の看護

2020年度
看護統合実習
(母性看護学領域)

実習場所			
実習期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
大学名	九州看護福祉大学 看護福祉学部 看護学科		
学籍番号		氏名	
担当教員名 (母性領域教員)			

実習生自己紹介書

実習期間	年 月 日 ~ 年 月 日		
学籍番号		氏名	
今までの実習で育んだ看護観や看護に対する姿勢			
目指す看護師像			
自己の学習課題 (課題を達成するための方法を含む)			

【行動目標・行動計画】

学生番号（ ）名前（ ）

	目標	行動計画		振り返り
		午前	午後	
日 目				
日 目				
日 目				

学生番号: 学生氏名:

看護統合実習タイムスケジュール

年 月 日		
本日の特記事項		
8:00		
9:00		
10:00		
11:00		
12:00		
13:00		
14:00		
15:00		
16:00		
備考		

・計画は黒字で記入し、追加や変更は青字で記入する。計画実施は各項目を☑する(記入例参照)

【基礎情報シート】 学生番号（ ） 名前（ ）

() 氏	年齢 () 代	性別:	職業:	感染症の有無	HBV () HCV () ワ氏 () ATLA ()
現病歴	発達課題 ()			家族構成及び背景	
入院目的				退院後の生活の場	
既往歴				持参薬	
				本人への説明	
身長		cm	入院前の状況	※ゴードンの11項目で記載する。	
体重		kg			
アレルギー					
感覚器の異常					
飲酒					
喫煙					
認知機能					
その他					

【疾患に関する解剖・生理】 学生番号（ ） 名前（ ）

疾患名：

関連した臓器等の解剖・生理

関連図 学生番号（ ） 名前（ ）

看護診断名

立案日： 年 月 日 (NO.)

看護過程

() 氏 学生番号

氏名

看護診断とその根拠	目標と看護計画	実施結果	評価・考察

フリーシート
学生番号

氏名

看護統合実習評価

実習期間:	年 月 日～ 月 日	学籍番号:	学生氏名:		
出席状況	欠席(臨地 日、学内 日)、早退(回)、遅刻(回)				
項目	評価内容	配点	学生	教員	
1. 複数の患者に対するケアのマネジメントを理解し、責任をもって看護を行う意味を理解できる	① 複数の患者を受けもち、患者情報を収集できた	3			
	② 複数の患者に必要な看護を計画立案できた	3			
	③ 複数の受け持ち患者に対して看護実践の優先順位が立てられた	3			
	④ 病棟の看護計画を基に自分のタイムスケジュールが立てられた	3			
	⑤ 立案したタイムスケジュールをもとに、担当ナースと調整できた	3			
	⑥ 看護実践の前に、看護計画の内容、タイムスケジュール、看護実践の優先順位についてリーダー看護師へ報告・相談ができた	3			
	⑦ メンバーシップに基づいて受持ち患者に必要な看護を実践できた	3			
	⑧ 看護の実践中や実践後に、患者状態や看護の実践結果、評価をリーダー看護師に報告できた	3			
2. 看護チームの役割と機能が理解できる	① メンバー看護師、リーダー看護師、看護師長の役割と機能を知ることができた	3			
	② 看護が継続して24時間提供されていることが理解できた	3			
	③ 患者のケアが他職種と協働で行われていることを理解できた	3			
	④ チーム医療における看護職の役割が理解できた	3			
3. 病院組織、看護部組織の概要を知る	① 病院組織の概要と理念を理解できた	3			
	② 看護部組織の概要と目標による管理について理解できた	3			
	③ 看護部の教育理念にあった看護師育成のためのしくみについて知った	3			
4. ケアに際してのヒューマンエラー防止の必要性和工夫が理解できる	① 起こしやすいヒューマンエラーを理解できた	3			
	② ヒューマンエラーを起こしやすい状況について理解し行動できた	3			
	③ ヒューマンエラーを防止するための具体的な方法について理解し行動できた	3			
	④ ヒューマンエラーを起こした場合の対処方法について理解できた	3			
	⑤ 医療事故防止のための組織的な取り組みやシステムについて知ることができた	3			
5. 専門職として、看護倫理に基づいた行動ができる	① 患者の価値観を考慮し患者を尊重した言葉かけや対応ができた	3			
	② 患者のプライバシーに配慮できた	3			
	③ 根拠に基づいたケアの必要性について患者が理解できる言葉で説明できた	3			
	④ 患者の看護に責任をもち、報告・連絡・相談ができた	3			
	⑤ 自分のできることできないことを判断し行動がとれた	3			
6. 実習態度	① 求められる記録は期限内に提出できた	3			
	② 課題レポートは学習の視点に沿って自分の考えを述べる事ができた	3			
	③ 積極的に事前学習に取り組み主体的に実習できた	3			
	④ カンファレンスでは、テーマに沿った内容を積極的に発言し、主体的に質問ができた	3			
	⑤ 自己の健康管理ができた	3			
8. 発表	① グループで協力して報告書を作成できた	5			
	② 効果的でわかりやすい発表ができた	5			
評価	0:できなかった 1:あまりできなかった 2:できた 3:よくできた			/100	/100
学生評価					
備考	サイン()				

提出日 年 月 日()

看護統合実習課題レポート

学生番号 _____ 氏名 _____

課題:実習における具体的体験の学びから自己の看護観と今後の課題を整理する。

※キーワード

ケアに責任を持つ、効果的なメンバーシップ、看護チームの連携、継続看護、他職種との連携と看護師の役割

タイムスケジュール例

年 月 日		患者A	患者B
本日の特記事項		慢性心不全、高血圧症 8:00 B P 170/92mmHg 気分不良あり。 内服薬変更、尿量チェック、BP140mmHg 以下まで床上安静、体重測定 1 回/日	多発性脳梗塞、高血圧症、左半身麻痺 昨夜夕食後 軽度のむせあり。経口 中止、点滴500m開始、朝の胸部X-P後、 食事検討
8:00	<input checked="" type="checkbox"/> 申し送り <input checked="" type="checkbox"/> リーダーと計画 確認 <input checked="" type="checkbox"/> 環境整備	<input checked="" type="checkbox"/> 情報収集 病室訪問 <input checked="" type="checkbox"/> フシックス40mg×1回へ変更、朝から開始、 WT53kg S:なんで体重が増えたんだろう 0:体 重増加を気にしている、朝食全量接種、 フシックス内服する、尿量が増えることを説 明する	<input checked="" type="checkbox"/> 情報収集 病室訪問 <input checked="" type="checkbox"/> 点滴準備 <input checked="" type="checkbox"/> 点滴開始
9:00	<input checked="" type="checkbox"/> リーダー報告	<input checked="" type="checkbox"/> VS BP166/92mmHg p 80 気分不良 なし 排尿有、BP低下傾向にあり様子見 る	<input checked="" type="checkbox"/> 胸部X-P 車いす
10:00			<input checked="" type="checkbox"/> VS T P R BP 肺音
11:00	<input checked="" type="checkbox"/> リーダー報告	<input checked="" type="checkbox"/> VS BP140/72mmHg p 78 少し楽に なった 利尿作用により心負荷が軽減 したためか	
12:00	<input type="checkbox"/> 昼交替Nsへ申し 送り後休憩		<input checked="" type="checkbox"/> 飲水、食事開始
13:00	<input type="checkbox"/> カンファレンス	<input type="checkbox"/> VS	
14:00		<input type="checkbox"/> 清拭	<input type="checkbox"/> VS <input type="checkbox"/> 清拭
15:00	<input type="checkbox"/> リーダー報告		
16:00			
備考			

・計画は黒字で記入し、追加や変更は青字で記入する。計画実施は各項目をする